

NEWS RELEASE

報道関係者各位

情報解禁日 2026/9/7(月)15:00

3人で奏でる最高のハーモニー。

清塚信也 Piano Trio、八ヶ岳公演とともに全国ツアー「Harmony」開催発表！

9月5日（土）、長野県・八ヶ岳高原音楽堂にて清塚信也 Piano Trio がコンサートを開催。標高約1,500mの森の中にある自然と調和したサロンのホールで、軽妙なトークも交え、演奏を披露した。そして、2026年12月から2027年2月にかけて、清塚信也 Piano Trio ツアー 2026-2027「Harmony」の開催が発表された。



2025年9月にスタートした全63公演の「清塚信也 47都道府県ツアー 2025-2026」が7月12日に東京・サントリーホールで千秋楽を迎え、次への第一歩として行われたのが、今回の「Yatsugatake Kogen Salon Concert 清塚信也 Piano Trio」。ピアノの清塚、そして学生時代からの友人であるバイオリンの山本翔平、チェロ奏者・高木慶太という気の置けないメンバーでのコンサートとなった。

大きな拍手が響く中、3人が登場。清塚は手を振ってそれに応える。オープニングは、エルガーの「ニムロッド」（「エニグマ変奏曲」より）。静かに始まり、そしてだんだんと感情が高まるように壮大に音が広がっていき、観客もそれをじっくりと聴き入った。会場となった八ヶ岳高原音楽堂は、作曲家・武満徹氏をアドバイザーに迎え、建築家・吉村順三氏が設計した建築物で、清塚は「久しぶりに来させていただきました。武満徹さんも関わった素晴らしい伝統あるホールで演奏できるのがとてもうれしいです」と話しつつ、「昨日（サントリーの）白州の工場に、行ってきまして夢のような時間でした」と、ウイスキーの蒸留所に足を運んだことを明かすなど、軽妙なトークで会場を和ませた。

エルガーがスランプの時に友人のイエガーがベートーヴェンを引き合いに出して奮い立たせ、ベートーヴェンの「悲愴」からインスパイアされて生まれた曲であると、オープニングの「ニムロッド」の曲説明も行い、その流れで、ピアノ・ソナタ「悲愴」第2楽章を演奏。2027年がベートーヴェンの没後200年という話題を切り出し、交響曲第5番「運命」など厳粛な印象があるベートーヴェンの作品としては異色な明るい

NEWS RELEASE

曲「ピアノ三重奏曲第4番「街の歌」より第3楽章」も披露。演奏曲目についてのエピソードを話すことで、それぞれの楽曲のつながりが見えてきて、ストーリーも生まれていった。

再度、蒸溜所を訪れた話を持ち出し、白州の良さはスコッチを感じさせるピートのアクセントがあるところと語り、「その雰囲気音楽に閉じ込めたといえ、フランス人のドビュッシーでございます」とつなげて、ドビュッシーの「月の光」を清塚による“ポップス色濃いめの映画音楽風アレンジ”で聴かせた。

ピアソラの「リベルタンゴ」後、山本と高木が一度ステージから退出し、「時間調整」と言いながら、ショパンの「ノクターン 第2番 変ホ長調 Op.9-2」などを清塚がピアノで独奏し、観客を楽しませた。「一人で弾くのは、合わせてあげたり煩わしいことが何もなくとても楽しかったです（笑）」とユーモアを交えたトークも聞かせ、山本とふたりでクライスラーの「コレルリの主題による変奏曲」と自身が作曲した「つながる心」、高木とふたりでショパンの「チェロ・ソナタ ト短調 作品65 第2楽章」と清塚が「慶太と一緒に弾くために高校生の時に作った」という「祈り」を演奏した。

本編の最後はドラマ『コウノドリ』より「candle」「Baby, God Bless You」の2曲で締め、アンコールでは、スペインの画家フランシスコ・デ・ゴヤの半生を描いたミュージカル『ゴヤ-GOYA-』より「アスタマニャーナ」を演奏した。



写真＝齊梧伸一郎

NEWS RELEASE

「12月からツアーが始まりますので、また聴きにきてくれたらうれしいです。今日演奏したプログラムからも演奏しますし、プラスで何か増えたらと思っていますので、コンサートツアー楽しみましょう」と呼びかけたとおり、**清塚信也 Piano Trio ツアー 2026-2027「Harmony」**の開催が発表された。

2026年12月6日(日)の東京・サントリーホール 大ホールからスタートし、年をまたいで2027年2月21日(日)の福岡・J:COM 北九州芸術劇場 大ホールまで全8公演を予定。幼馴染みならではの自在な呼吸とユーモアあふれるトーク、そしてクラシック音楽の奥深さと楽しさを身近に実感できる極上のひとときとなるはずだ。この3人だからこそ生まれる奇跡のハーモニーと、ジャンルの枠を超えた自由な演奏を、ぜひ会場で体感してほしい。

コンサートのチケットは、清塚信也ファンクラブにて最速先行受付中！

【清塚信也 Official Fan Club 「ファンクラブとかじゃないんで」 会員先行】9/7(月)15:00～9/13(日)23:59

リンク先：<https://kiyozuka-fc.com/s/n190/>

一般先行は、9/19(土)10:00～10/4(日)23:59 オフィシャル先行（ローソンチケット）にて受付

リンク先：<https://l-tike.com/harmony-tour>

清塚信也 Piano Trio ツアー 2026-2027「Harmony」公演概要



<出演>

清塚信也(Pf.) 山本翔平(Vn.) 高木慶太(Vc.)

<スケジュール>

<東京公演>

2026年12月06日(日) 18:00 開演 (17:15 開場)

サントリーホール 大ホール

主催：キョードー東京／テレビ朝日

お問合せ：キョードー東京 0570-550-799 (平日 11:00～18:00／土日祝 10:00～18:00)

NEWS RELEASE

<石川公演>

2026 年 12 月 26 日(土) 15:00 開演 (14:15 開場)

石川県立音楽堂 コンサートホール

主催：HAB 北陸朝日放送

お問合せ：サンライズプロモーション北陸 025-246-3939 (火～金 12:00～16:00/土曜 10:00～15:00(休業日：月・日・祝日))

<福井公演>

2026 年 12 月 27 日(日) 15:00 開演 (14:15 開場)

福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい

主催：福井放送

お問合せ：サンライズプロモーション北陸 025-246-3939 (火～金 12:00～16:00/土曜 10:00～15:00(休業日：月・日・祝日))

<宮城公演>

2027 年 01 月 10 日(日) 15:00 開演 (14:15 開場)

仙台銀行ホールイズミティ 21 大ホール

主催：khb 東日本放送

お問合せ：キョードー東北 022-217-7788 (平日:13:00～16:00 / 土:10:00～12:00/日祝休業)

<岐阜公演>

2027 年 01 月 17 日(日) 15:00 開演 (14:15 開場)

長良川国際会議場 メインホール

主催：名古屋テレビ放送

お問合せ：サンデーフォークプロモーション 052-320-9100 (12:00～18:00)

<兵庫公演>

2027 年 01 月 29 日(金) 18:30 開演 (17:30 開場)

神戸国際会館こくさいホール

協力：朝日放送テレビ (ABC テレビ)

お問合せ：キョードーインフォメーション 0570-200-888 (12:00～17:00/土日祝休業)

<広島公演>

2027 年 02 月 07 日(日) 15:00 開演 (14:00 開場)

広島文化学園 HBG ホール

主催：広島ホームテレビ

お問合せ：YUMEBANCHI(広島) 082-249-3571 (平日 12:00～17:00)

<福岡公演>

2027 年 02 月 21 日(日) 15:00 開演 (14:15 開場)

J:COM 北九州芸術劇場 大ホール

主催：KBC 九州朝日放送

お問合せ：キョードー西日本 0570-09-2424 (11:00～15:00/日祝休業)

チケット料金 (税込) : 全席指定 6,800 円

チケット一般発売日 : 2026 年 10 月 31 日 (土) 10:00

NEWS RELEASE

公演公式 HP : <https://kyodotokyo.com/harmony-tour>

< 注意事項 >

※3歳以下のご入場はできません。4歳からチケットが必要です。

※車椅子をご利用のお客様はチケットをご購入の上、各地問い合わせ先までお電話にてご連絡ください。

※原則公演延期・中止の場合を除いてチケットの払い戻しはいたしません。

※営利目的でのチケットの転売、オークションへの出品は固くお断りいたします。万が一、そのような事態が発生した場合は、ご入場をお断りいたします。

※客席を含む会場内に収録用カメラが入ることがございます。その際、収録した映像や写真にお客様が映り込むことがございますが、ご了承ください。尚、収録した映像や写真は、放送・配信・複製頒布等する場合がございます。

◆企画・制作：キョードー東京／トライストーン・エンタテインメント

出演者

清塚信也 (Piano)



5歳よりクラシックピアノの英才教育を受ける。中村紘子、加藤伸佳、セルゲイ・ドレンスキーに師事。桐朋女子高等学校音楽科（共学）を首席で卒業、国内外のコンクールで数々の賞を受賞。人気ドラマ「のだめカンタービレ」他作品で吹き替え演奏を担当し脚光を浴びる。2013年には映画『さよならドビュッシー』で岬洋介役として俳優デビュー。2015年TBS系金曜ドラマ『コウノドリ』（主演：綾野剛）では、ピアノテーマおよび監修を手掛けるほか、役者としても出演。知識とユーモアを交えた話術と繊細かつダイナミックな演奏で全国の聴衆を魅了し続け、年間100本以上の演奏活動を展開。作曲家としてドラマ・映画・舞台の劇伴やテーマ曲を手掛けるほか、Eテレ「クラシックTV」ではMCと番組監修を務め、斬新な切り口で幅広い音楽の魅力を伝える。ピアニストとして次々と新しいフィールドへの挑戦を続け、常に話題と注目を集めている。公式HP：<http://tristone.co.jp/kiyozuka/>

山本翔平 (Violin)



桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を卒業後、同大学研究科修了。第48回毎日コンクール入選。第3回江藤俊哉ヴァイオリンコンクールジュニアアーティスト部門第3位入賞。2002年、2005年に小澤征爾・ムスティラフ・ロストロポーヴィッチ主催によるコンサートキャラバン、2004年、ムスティラフ・ロストロポーヴィッチ主催による皇后陛下の古希祝賀コンサート、2006年、小澤征爾音楽塾に参加。2007年、東京都交響楽団に入団。オーケストラの他、ソロや室内楽も積極的に取り組む。特に室内楽では、Quartetto Hymnusのメンバーとして活動し、2012年に、松尾学術復興財団より助成金を得る。リゾナーレ室内楽講習会にて、「緑の風音楽賞」受賞。現在、東京都交響楽団第2ヴァイオリン副首席奏者を務める。

高木慶太 (Cello)



北海道生まれ。6才よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科（共学）及び桐朋学園大学卒業。同大学院大学を経て'07年春ロームミュージックファンデーションの奨学金を得てベルリン芸術大学に留学。第74回日本音楽コンクール・チェロ部門第2位入賞。'01年いしかわミュージックアカデミーにてIMA賞受賞、翌年スカラシップを得てアスペン音楽祭に参加。第1回旭川・ウィーン国際弦楽セミナーにて優秀賞を受賞。ドイツ、ベルリンで開催されたドミニコ・ガブリエリチェロコンクールにて3位入賞。スカラシップを得てアスペン音楽祭に参加。第106回日演連新人演奏会において札幌交響楽団と、大学院大学在学中に桐朋オーケストラ・アカデミーと共演。室内楽においては、(財)地域創造アウトリーチ活動の他、同年代で結成したチェログループ、クアルテット・エクスプローチェ、クアルテット・ヒムヌス、東京チェロアンサンブル、そして古澤巖率いる品川カルテットのメンバーとして定期的にツアー、演奏会を行う。ドイツより帰国後、北海道、東京のコンサートホールでチェロリサイタルを開催。チェロを上原与四郎氏、毛利伯郎氏、岩崎洸氏、マルクス・ニコシュ氏に師事。2023年4月まで約12年間在籍した読売日本交響楽団を退団。2015年9月より約2年間、同楽団のチェロ首席代行奏者を務める。現在フリーランスとして活動し、ソロ活動や室内楽、国内の主要オーケストラの客演首席として多数出演。また、2024年4月より、桐朋学園大学にて非常勤講師として勤務。

本リリースのお問い合わせ（宣伝素材、取材など）：TEL：03-6555-2290

雲林院・佐藤・山内 info@kyodomedias.com